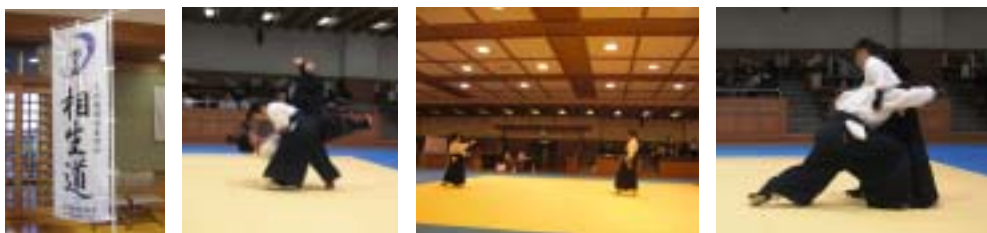


Aichi Soseido Press 2012.01

日本相生道協会愛知県支部から皆様に、旬のニュースをお届けします。

第六回愛知県大会 県武道館で開催

2011年12月3日、[愛知県武道館](#)・第三競技場にて、日本相生道協会愛知県支部が主催する「第六回 相生道愛知県大会」が開催されました。当日は南山大学相生道部、多摩美術大学相生道部、赤池道場、八雲会の四団体が参加しました。



愛知県大会は2006年の第一回以来、毎年十二月に実施されており、一年を締めくくる行事として拳士の間でもすっかり定着しました。第六回を数える今回は、「法形」「多敵」「立合」「団体」の各部門に分れて競技が実施されたほか、「古流の武器術」「護身」の演武も披露されました。



大会の中心となる「法形の部」は、「掛け・応じ・返し」という形の中で自由に展開する攻防を採点する競技です。

「形」と「自由攻防」の両立は容易ではありません。そこで五級・六級の拳士は、事前に攻防の内容を決めておく「組み合わせ」を作り二人一組で参戦します。

相生道ではこのように、体格・体力や熟練度の異なる競技者が同じ土俵で切磋琢磨できる仕組みが作られています。



一方、「多敵競技」では予め用意した一对三の攻防の完成度を競います。

最後に競技各部門の上位入賞者に賞状が授与され、盛況の裡に幕を下ろしました。

次号でも大会の様子をご紹介します。



発行：日本相生道協会愛知県支部 (<http://www.soseido.org/>) 文責：杉山元康